

<報道資料>

※本資料は、4月1日(現地時間)に発表された英語版プレスリリースの抄訳です。

2019年4月8日

ウエスタンデジタルと AMD、インメモリーコンピューティングの急速な ワークロード増加に伴うメモリー需要に対応

Western Digital® Ultrastar® DC ME200 メモリードライブと AMD EPYC™ プロセッサの構成により
リアルタイム解析、インメモリーデータベース、時間制約のあるワークロードなどに対応

カリフォルニア州サンノゼ 2019年4月1日 [ウエスタンデジタルコーポレーション](#) (NASDAQ:WDC、以下ウエスタンデジタル)は本日、AMD との提携によって、リアルタイム解析などに必要なインメモリーワークロードにおいて、既存のサーバーでアドレス指定が可能なメモリーの容量を拡張したい顧客ニーズの増加に対応する最新のメモリー拡張ソリューションを発表しました。AMD EPYC™ プロセッサと [Ultrastar DC ME200 メモリードライブ](#) を組み合わせたこのソリューションは、スケーラブルでコスト効果の高い方法でコア当たりのメモリー割合を向上させ、メモリーフットプリントを拡張します。

ウエスタンデジタルは、2019年4月2~3日にサンフランシスコで開催された RedisConf19 のブース#19、Pier 27 に出展し、クラウドアーキテクトや DevOps 担当者が Ultrastar メモリードライブを活用することで、様々なサーバーや業界主力のプロセッサでメモリードライブ技術を駆使して Redis™ インメモリーデータセットをより大きなメモリープール向けに拡張しつつ TCO を抑制できることを紹介しました。また、Redis データの管理や運用のコンテナ化されたマイクロサービスへの最適化、Redis バックアップの実施、マルチクラウドアーキテクチャーの展開、ウェブスケールパフォーマンス向けの革新的なアプリケーションの構築が実現できることも Redis コミュニティに向けて紹介しました。

AMD のデータセンターエコシステムおよびアプリケーションエンジニアリング担当 CVP 兼 CTO のラグー・ナンブラー氏は、次のように述べています。「顧客からはメモリーフットプリントの拡大とコア当たりメモリーの割合の向上が求められており、AMD EPYC プロセッサと Ultrastar メモリードライブを搭載するサーバーにより、インメモリーアプリケーションやデータベース向けの既存、新規のサーバーのアドレス指定可能なメモリー容量を大幅に拡大することができます。これにより、アドレス指定可能なメモリーの高密度化、データセンター運用やリソース消費の削減により、顧客は追加コストを抑えながら生産性の向上を実現することが可能となります。」

2018年10月に発表された Ultrastar DC ME200 メモリードライブは、挿入するだけで使用でき、PCI-e デバイスと互換性のあるスケーラブルなインメモリーコンピューティング向け製品で、より高いアプリケーションパフォーマンスのニーズやよりダイナミックなワークロードおよびアーキテクチャーに対応します。Ultrastar メモリードライブの最新版が AMD EPYC プロセッサに対応したことで、クラウドアーキテクト、DevOps 責任者、デジタルプラットフォームマネージャーは、既存の Linux® OS やアプリケーションスタックに変更を加えることなく DRAM を拡張し、拡大を続けるデータセットをより大きなメモリープールに格納することができます。

Ultrastar DC ME200 メモリードライブは、DIMM のみを使う従来のスケールアウト型 DRAM コンピュートクラスターと比較して、AMD EPYC プロセッサに基づくサーバーのコア当たりメモリーの割合を拡大します。また Ultrastar メモリードライブのメモリー拡張性により、統合によるインメモリーインフラストラクチャーの TCO を削減します。例えば、30TiB のデータをメモリーに有するクラスターが各 1TiB の 30 ノードで構成されている場合、各ノードが 4TiB のシステムメモリーを持つ 8 ノード構成に縮小しつつ、ノード当たりの CPU 使用を拡大することが可能です(注 1)。Ultrastar メモリードライブは、SAP® HANA®, Oracle®, IBM®、

Microsoft®などのインメモリーデータベースエンジンや Redis、Memcached、Apache Spark™、大規模データベースなどのスケールアウト型メモリーセントリックアーキテクチャーに理想的なソリューションです。

ウエスタンデジタルのデータセンターおよびクライアントコンピューティングデバイス担当バイスプレジデント、エヤル・ベックは次のように述べています。「AMD EPYC プロセッサに基づくサーバーを Ultrastar メモリードライブと組み合わせることでサーバーごとの全般的なメモリー量を大幅に拡大し、インメモリーアプリケーション向けのよりコスト効果の高いデータセンター基盤を提供します。当社は AMD などのパートナーと協業し、顧客がデータセンター基盤コストの負担なくデータセットを拡張できるよう支援していきます。」

Western Digital Ultrastar DC ME200 メモリードライブ

Ultrastar メモリードライブは、ほとんどのサーバーで挿入するだけで使用可能な PCIe デバイスとの互換性のある製品で、すでに提供を開始しています。1TiB、2TiB、4TiB で提供されるこのソリューションではオペレーティングシステム、システムハードウェア、ファームウェア、アプリケーションスタックに変更を加える必要がありません。拡張性については、Ultrastar メモリードライブをインメモリーコンピュータークラスターで使用する場合、1U サーバーで通常最大 24TiB のシステムメモリーをサポートします。サーバーインターフェースは U.2 または AIC (アドインカード) HH-HL フォームファクターの NVMe™ および PCIe をサポートしています。製品について詳しくは [こちら](#) をご覧ください。

ウエスタンデジタルの関連情報 (英語)

ソリューション概要: [Redis メモリー構成をより大規模なデータストアとキャッシングに拡大する](#)

ブログ: [ステップバイステップ Ultrastar メモリードライブのブートプロセス](#)

ブログ: [Redis™ メモリー、データ管理・運用を拡張する](#)

動画: [メモリー拡張—Ultrastar DC ME200 メモリードライブ](#)

データシート: [Ultrastar® DC ME200 メモリー拡張ドライブ](#)

ウエスタンデジタルのデータセンターポートフォリオには、ハイブリッド、オールフラッシュ、NVMe オールフラッシュストレージシステムの IntelliFlash™、ペタバイト規模のハイブリッドクラウドオブジェクトストレージシステムの ActiveScale™、NVMe-over-Fabrics (NVM-oF) [オープンコンポーザブルインフラストラクチャーの OpenFlex](#)、[Ultrastar サーバーおよびストレージプラットフォーム](#)、[Ultrastar メモリードライブ](#)、Ultrastar ファミリーのデータセンタークラス [HDD](#) および [SSD](#) が含まれます。

ウエスタンデジタルの各種アカウント:

[Twitter \(日本語\)](#), [LinkedIn](#), [Blog](#), [Facebook \(日本語\)](#), [YouTube](#)

ウエスタンデジタルについて

ウエスタンデジタルは、データ社会が発展する環境を創造し、かつてなく多様化するデータの保存、保護、アクセス、変換に必要なイノベーションを推進していきます。先進的なデータセンターからモバイルセンサー、パーソナルデバイスまで、データが存在するあらゆる場所において、業界をリードするウエスタンデジタルのソリューションはデータの可能性を広げます。ウエスタンデジタルは、Western Digital®、G-Technology™、SanDisk®、Upthere™ および WD® のブランドでデータ・セントリック・ソリューションを展開しています。

¹ メモリー容量は GiB、TiB の二進単位で表されます。1 ギビバイト (GiB) は 2³⁰ バイト、1 テビバイト (TiB) は 1024 GiB (2⁴⁰ バイト) です。実際にアクセスできる容量はソフトウェア、フォーマット形式、その他の要因により記載の容量と異なる場合があります。

Forward-Looking Statements

This news release contains certain forward-looking statements, including statements regarding the applications, benefits, capabilities, features and performance of Western Digital's memory extension products. There are a number of risks and uncertainties that may cause these forward-looking statements to be inaccurate including, among others: volatility in global economic conditions; business conditions and growth in the storage ecosystem;

impact of competitive products and pricing; market acceptance and cost of commodity materials and specialized product components; actions by competitors; unexpected advances in competing technologies; our development and introduction of products based on new technologies and expansion into new data storage markets; risks associated with acquisitions, mergers and joint ventures; difficulties or delays in manufacturing; and other risks and uncertainties listed in the company's filings with the Securities and Exchange Commission, including our most recently filed periodic report to which your attention is directed. The company undertakes no obligation to update the information in this release in the event facts or circumstances change after the date of this release.

© 2019 Western Digital Corporation or its affiliates. All rights reserved. Western Digital, Western Digitalロゴ、G-Technology, SanDisk, Upthere, WD, Ultrastarは、米国およびその他の国におけるWestern Digital Corporation、またはその関連会社の登録商標または商標です。AMD, the AMD logo, EPYC, combinations thereofは、米国およびその他の管轄におけるAdvanced Micro Devices, Inc.の商標です。

NVMe™マークは、NVM Express, Inc.の登録商標です。他のすべての商標類は、各所有者の財産です。

<本件に関する報道関係の方のお問い合わせ>

ウエスタンデジタル広報担当：鈴木

TEL: 0466-98-4044 FAX: 0466-98-3171

クレアブ株式会社

ウエスタンデジタル広報担当：友廣、恵木、宮津

TEL: 03-5404-0640 FAX: 03-5404-7120

E-mail: WDCJapan@kreab.com